

---

指紋認証ソフトウェア

MC-Passport for iDEA

ユーザズマニュアル



---

#### **免責事項**

- 1) 本資料に掲載された内容に起因する直接的および間接的な損害またはその他の権利の侵害に関して当社は一切その責任を負わない。
- 2) 本資料によって第三者または当社の特許権その他の権利を承諾するものではない。
- 3) 本資料の一部または全部を当社に無断で転載複製する事を禁ずる。
- 4) 本資料に記載された仕様等は改良などの目的で予告なく変更する場合がある。

本資料に記載された会社名ならびに製品名は各社の商標もしくは登録商標です。

本製品を輸出する場合は外国為替及び外国貿易法並びに米国の輸出管理法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

---

---

## 目次

1. はじめに .....	4
2. 動作環境について .....	4
a. 対応OS .....	4
b. インストール要件 .....	4
3. インストールとアンインストール手順 .....	5
a. ドライバのアップデート .....	5
b. MC-Passportのインストール .....	8
MC-Passportの .....	12
c. アンインストール .....	12
d. ドライバのアンインストール .....	14
4. 操作方法 .....	16
a. MC-Passportの設定 .....	16
i. 環境設定 .....	16
ii. パスワードの自動登録設定 .....	17
iii. パスワードの自動登録解除 .....	19
b. Windowsロック解除 .....	21
c. Passport Managerの起動 .....	22
d. Passport Managerの終了 .....	22
e. パスポートの作成 .....	23
i. パスワードダイアログボックスでのパスポートの作成例 .....	25
ii. Webサービスパスワード入力画面でのパスポートの作成例 .....	26
f. パスポートの再生テスト .....	27
g. パスポートの自動再生 .....	28
h. パスポートの再生 .....	29
i. パスポートの削除 .....	30
j. Passport Managerの停止/再開 .....	31
i. 停止 .....	31
ii. 再開 .....	32
k. 環境設定 .....	32
i. パスポートの格納場所 .....	33
1) Local Settings .....	33
2) Flash Disk .....	33
ii. 認証 .....	33
iii. プレーヤーの認識率 .....	33
iv. 再生テスト時ディレイ .....	34

---

v. 通常再生時ディレイ .....	34
vi. 各機能の使用許可 .....	34
l. バージョン情報の表示 .....	34
5. パスワード初期化ユーティリティ .....	35
a. インストール .....	35
b. 起動.....	38
c. パスワードの消去方法.....	39

---

## 1. はじめに

本書では、エムコマース株式会社製 MC-Passport for iDEA(以下、MC-Passport と称します)の操作手順を説明します。

MC-Passport を用いることで、Windows へのログオンを「指紋認証付 USB メモリ BioSlimDisk iDEA」(以降 iDEA と称します)を用いた指紋認証で本人確認を行う事で、安全に素早く、かつ簡単に実現することができるようになります。

また MC-Passport に含まれているパスポートマネージャーは各種アプリケーションが ID/パスワード(以下、パスポートと総称します)を要求した都度、Windows ログオン認証と同様の認証を行った上でパスポートを自動的に挿入する事ができます。

## 2. 動作環境について

### a. 対応 OS

Windows 2000 Professional 日本語版

Windows XP Professional 日本語版

**注) Windowsログオンを操作するような、他社製アプリケーションとは共存できません。**

### b. インストール要件

指紋登録済みの BioSlimDisk iDEA が接続されていること。

---

### 3. インストールとアンインストール手順

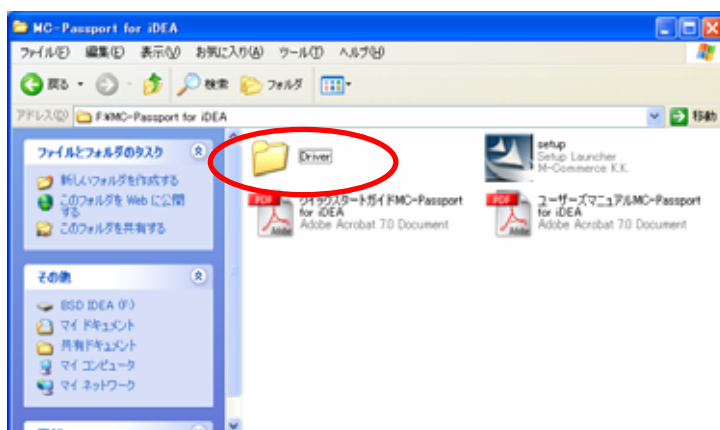
まず、管理者権限のあるユーザでログオンします。

旧 Version のドライバや MC-Passport がインストールされている場合は、アンインストールを行ってから以下の手順を行ってください。

#### a. ドライバのアップデート

MC-Passport for iDEA をインストールする前に、デバイスドライバのアップデートを行います。

「MC-Passport for iDEA (ver3.0)」フォルダ内には「setup」という MC-Passport for iDEA のインストーラ及びドライバ更新プログラムが入っている「Driver」というフォルダ、MC-Passport for iDEA の取扱説明書である「**ユーザズガイド MC-Passport for iDEA**」が収録されています。  
ここで「Driver」のフォルダをダブルクリックで開いてください。



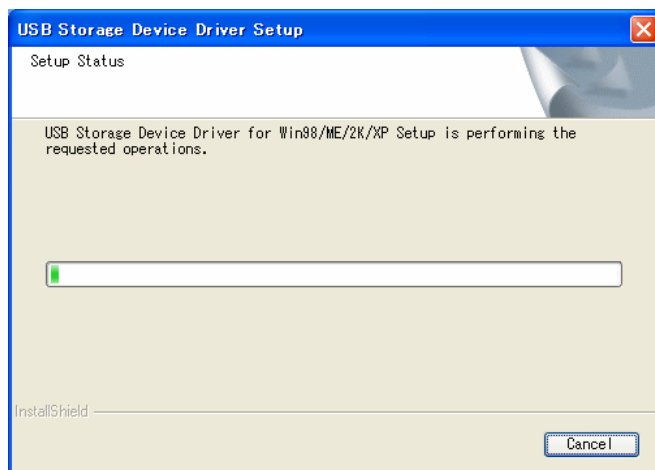
"Driver" フォルダを開くと「win982KDrv」という実行ファイル(.exe 形式)がありますので、このアイコンをダブルクリックしてドライバアップデートプログラムを起動します。



デバイスドライバセットアッププログラムが起動すると、下記の様な画面が表れますので、[ Next > ] ボタンをクリックしてください。



下記の様な画面に変わり、ドライバのインストールが開始されます。



---

インストールが完了すると、下の様な画面が表示されますので、[Finish]ボタンをクリックしてください。



この後、BioSlimDisk iDEA を PC へ接続し指紋認証を行ってください。



---

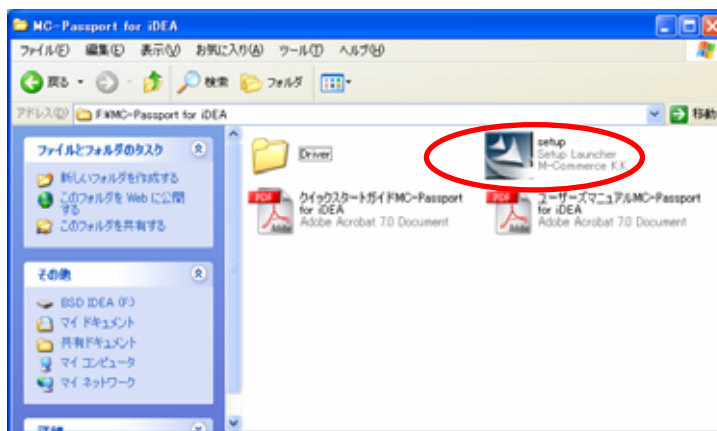
## b. MC-Passport のインストール

### < 注意事項 >

ソフトウェア( MC-Passport for iDEA )インストール前に、「Administrator」アカウントのパスワードを必ず確認してください。

また、MC-Passport for iDEAは、漢字等の 2 バイト文字のユーザー名には対応しておりません。

まず、iDEA のフラッシュドライブ内の"MC-Passport for iDEA"フォルダを開きます。その中に「setup」という実行ファイル(.exe 形式)がありますので、このアイコンをダブルクリックして MC-Passport for iDEA のインストーラを起動します。



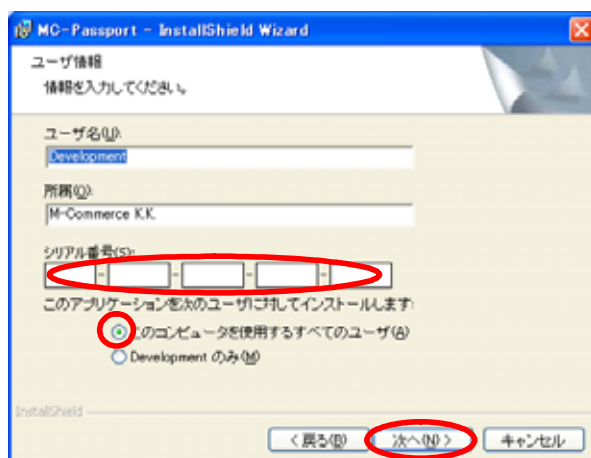
インストールの開始画面が表示されます。[次へ(N) >]をクリックしてください。



使用許諾契約の画面が表示されますので、ソフトウェアライセンスをお読みにになり、使用許諾契約に同意頂けましたら「**使用許諾契約の条項に同意します(A)**」を選択し[次へ(N) >]をクリックしてください。



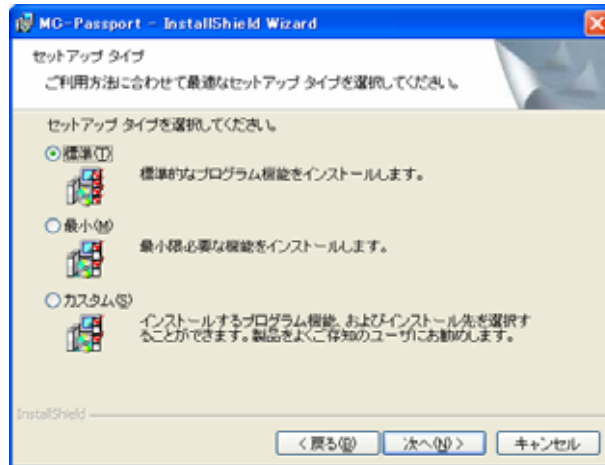
ユーザ情報の入力画面が表示されますので、ユーザ名、所属、シリアル番号等を確認・入力して[次へ(N) >]をクリックしてください。下のインストール対象については、通常は上段の「**【このコンピュータを使用する全てのユーザ】(A)**」を選択して下さい。



\*シリアル番号は、BioSlimDisk iDEA 内に保存されている「ソフトウェアライセンスシート.pdf」をご参照ください。

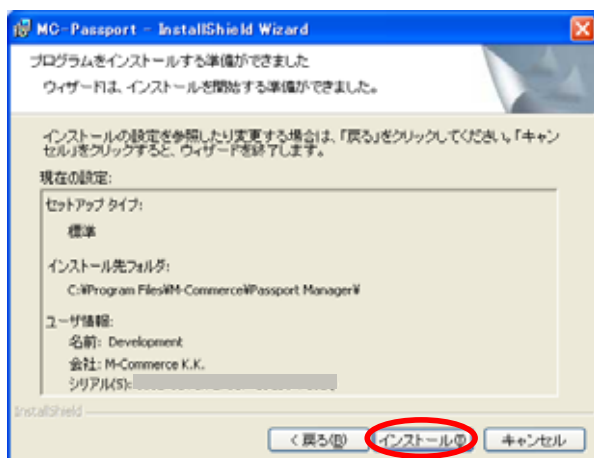
---

「セットアップタイプ」の画面が表示されますので、いずれかを選択して、[次へ(N) >]をクリックしてください。



- ・ 標準(T) 指紋によるログオン機能と、PassportManager がインストールされます。
- ・ 最小(M) 指紋によるログオン機能のみがインストールされます。
- ・ カスタム(S) 指紋によるログオン機能と、PassportManager、iDEA 内に格納した Windows ログオンパスワードのリセットを行う為のパスワード初期化ユーティリティがインストールされます。

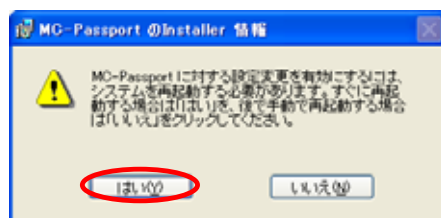
「プログラムをインストールする準備ができました」の画面が表示されますので、**[インストール(I) >]**をクリックするとインストールが開始されます。



インストールが成功すると、下記の画面が表示されますので、**[完了(F)]**をクリックするとインストールが完了します。



インストール完了後、下記の画面が表示されますので、**[はい(Y)]**をクリックしてコンピュータの再起動を行って下さい。



再起動後は、MC-Passport のログオン画面になります。4. 操作方法 の手順に従って設定を行った後、初回ログオン時にパスワードの記憶作業を行うと指紋によるログオンが出来るようになります。

---

### c. MC-Passport のアンインストール

管理者権限のあるユーザでPCにログオンしてください。

インストールの際に使用した「**setup**」を実行してください。(インストールに使用したのと同じ物です)

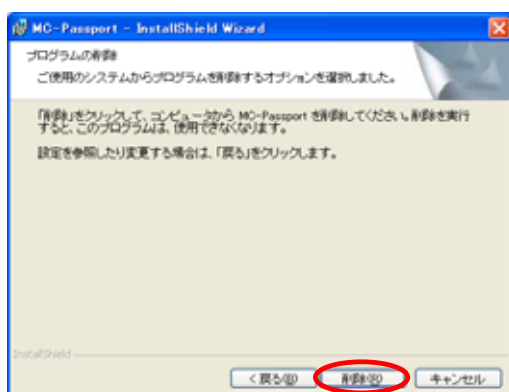
インストールの開始画面が表示されますので[**次へ(N) >**]をクリックしてください。



下記の様な画面が表示されますので「**削除(R)**」を選択した後[**次へ(N) >**]をクリックしてください。



下記の画面が表示されますので、[ **削除(R)** ]ボタンをクリックして下さい。アンインストールが開始されます。



処理が終了すると、下記の画面が表示されますので、[ 完了(F) ]ボタンをクリックするとアンインストールが完了します。



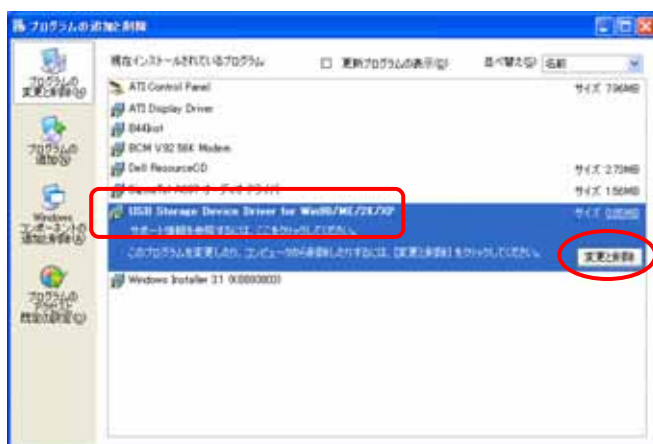
終了後、再起動すると元の Windows のログオン方法に戻ります。

アンインストールが完了したら、すぐにシステムを再起動させてください。

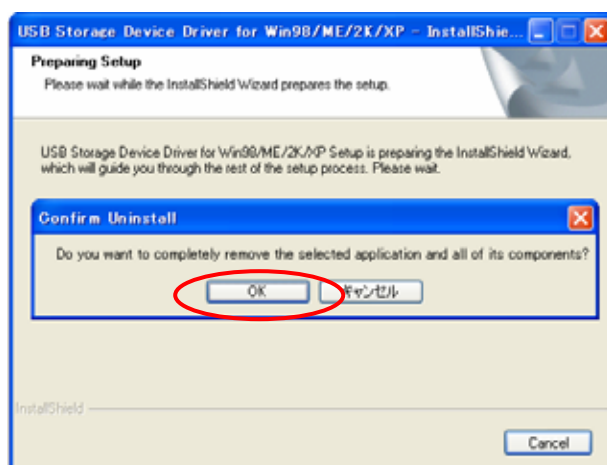
**注)再起動させずに使い続けると、システムが不安定になります。**

#### d. ドライバのアンインストール

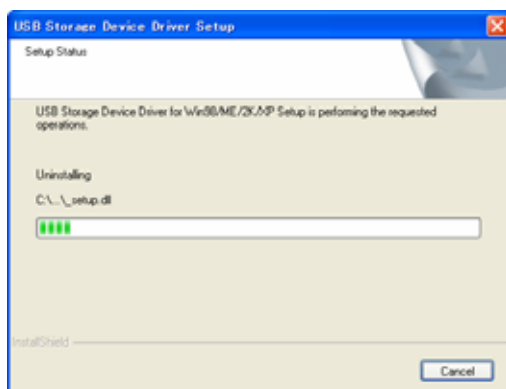
MC-passport のアンインストール後、管理者権限のあるユーザでログオンしてください。  
コントロールパネルからプログラムの追加と削除を開き、“**RiTech UserMode Driver for Win98/ME/2K/XP**”を選択し、**[変更と削除]**ボタンをクリックしてください。



アンインストーラが起動され、図のようなダイアログが表示されますので、[OK]ボタンをクリックしてください。

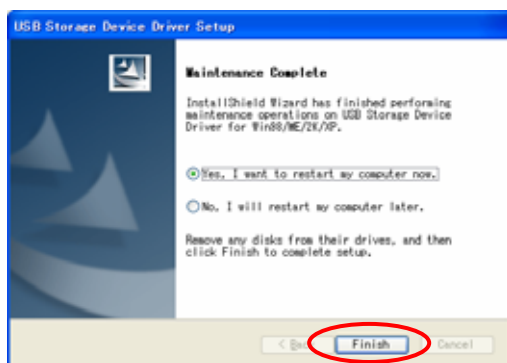


図のような画面に変わり、アンインストールが実行されます。



---

図のような画面が表示されますので、[Finish]ボタンをクリックして PC を再起動させてください





## 4. 操作方法

### a. MC-Passport の設定

MC-Passport をインストールした後、OS を再起動すると、下記に示すような Windows へようこそ画面が表示されます。

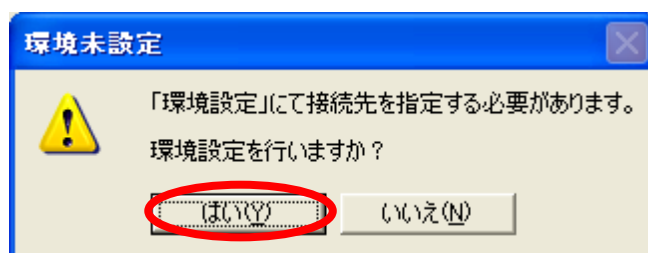
Windows へようこそ画面が表示されたら、画面中のメッセージに従って Ctrl+Alt+Del キーを押してください。



### i. 環境設定

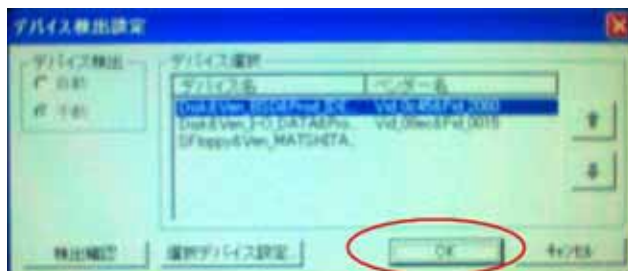
インストール後の初回 Windows 起動時に、下記に示す環境未設定画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリックします。

**注)環境設定を行わないと、以降、正常に動作しません。また、指紋の登録が済んでいる iDEA を接続し、指紋認証を行った状態にしておいてください。**



デバイス検出設定画面が表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてします。

「OK」ボタンがクリックできない場合は、「キャンセル」ボタンをクリックして、BioSlimDisk iDEA を接続し指紋認証を行い、再度、環境設定を行ってください。



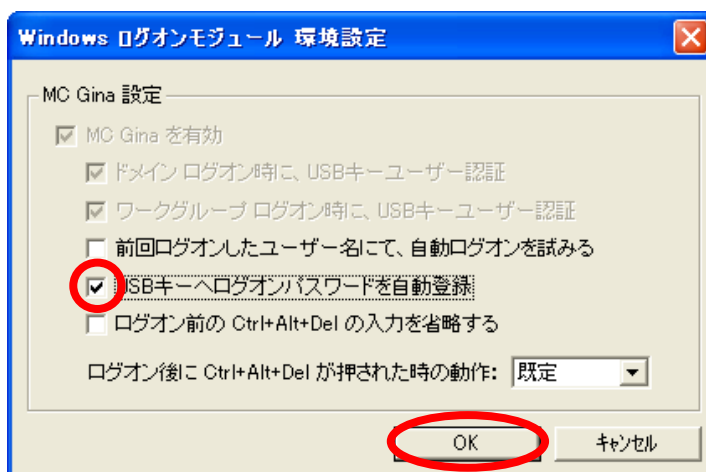
## ii. パスワードの自動登録設定

注) 本操作は、iDEAにログオンパスワードが登録されていない場合、初回Windowsログオン時にのみ行ってください。iDEAにログオンパスワードが既に登録されている場合、本操作は行わないで下さい。

次に、下記に示す Windows ヘログオン画面が表示されたら、Shift キーを押しながらロゴアイコンをクリックします。



下記に示す Windows ログオンモジュール環境設定画面が表示されたら、「USB キーへログオンパスワードを自動登録」チェックボックスをチェックした後、「OK」ボタンをクリックします。



再度、Windows へようこそ画面が表示されたら、画面中のメッセージに従って、Ctrl+Alt+Del キーを押してください。

次に、下記に示す Windows へログオン画面が表示されたら、「ログオン先」リストボックスからログオン先を選択した後、「ユーザー名」エディットボックスにユーザー名を入力してください。



ドメイン環境の場合  
ここでログオン先を選択

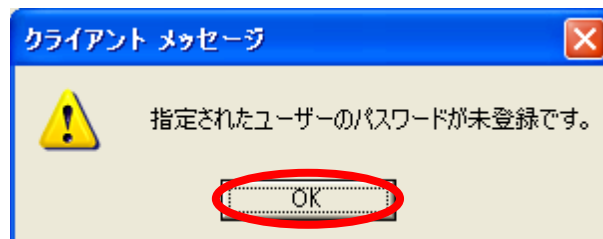
ユーザー名の入力が終了したら、iDEA の指紋認証を行ってください。既に認証済みの場合は「OK」ボタンをクリックしてください。

認証に成功すると Windows ログオン処理が開始されます。

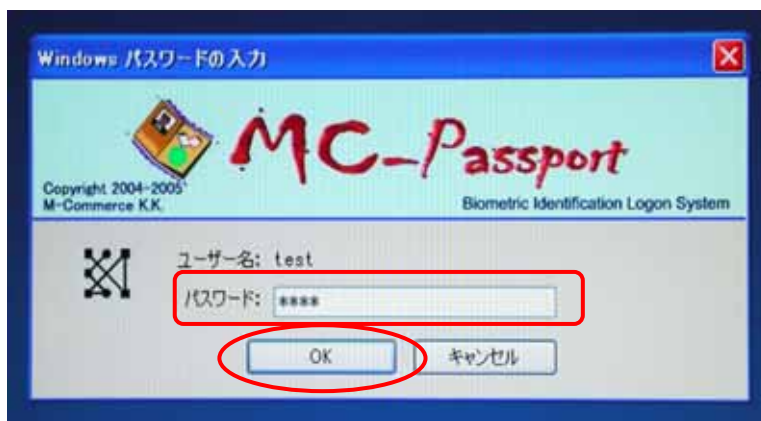
**注) AdministratorなどのOSで予め予約されているユーザー名(Well Known Users)で Windowsログオンを試みた場合、デバイス認証画面は表示されず、Windowsパスワードの入力画面が表示されます。**

画面上のメッセージでは「USB キー」となっていますが、iDEA の事を指します。

認証デバイスにログオンパスワードが未登録の場合、下記に示すメッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。



パスワードが未登録で、且つ、前述の Windows ログオンモジュール設定画面で、「USB キーへログオンパスワードを自動登録」チェックボックスがチェックされていると、下記に示す Windows パスワードの入力画面が表示されます。ログオンパスワードを入力した後、「OK」ボタンをクリックしてください。



### iii. パスワードの自動登録解除

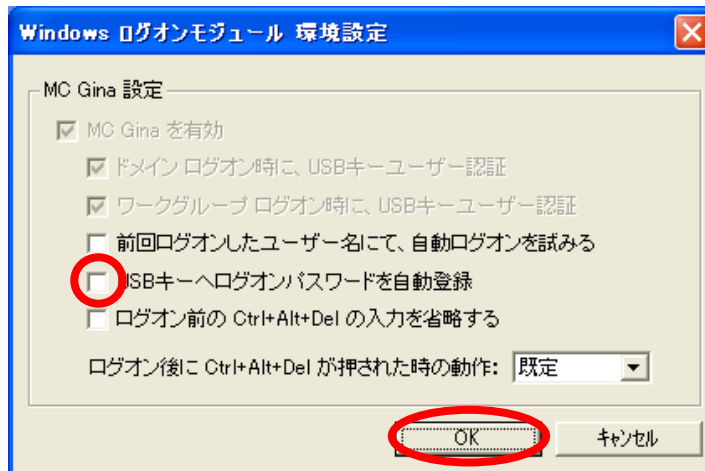
注)本操作は、前述のi. パスワードの自動登録設定が終了した後、次回Windowsログオン時にのみ行ってください。前述のi. パスワードの自動登録設定を実行しなかった場合、本操作は行わないで下さい。

Windows へようこそ画面が表示されたら、画面中のメッセージに従って、Ctrl+Alt+Del キーを押してください。

次に、下記に示す Windows へログオン画面が表示されたら、Shift キーを押しながらロゴアイコンをクリックします。

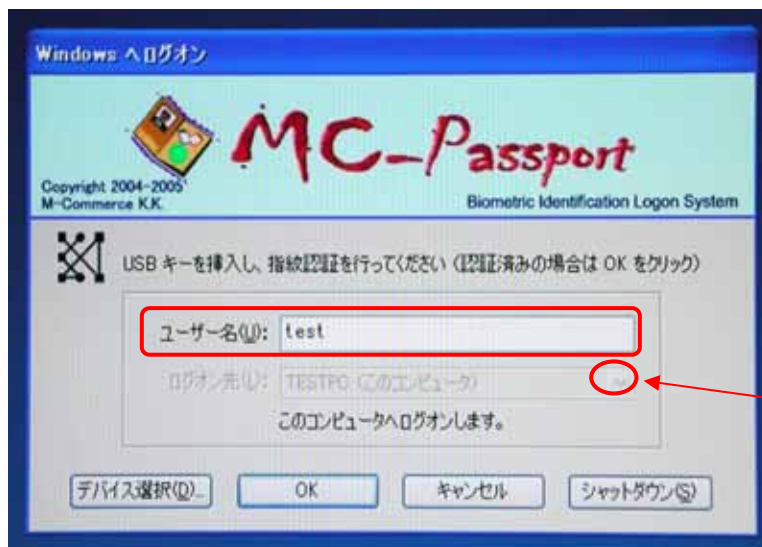


Windows ログオンモジュール環境設定画面が表示されたら、「USB キーへログオンパスワードを自動登録」チェックボックスをアンチェックした後、「OK」ボタンをクリックします。



再度、Windows へようこそ画面が表示されたら、画面中のメッセージに従って、Ctrl+Alt+Del キーを押してください。

次に、下記に示す Windows へログオン画面が表示されたら、ドメイン環境の場合は「ログオン先」リストボックスからログオン先を選択した後、「ユーザー名」エディットボックスにユーザー名を入力してください。



ドメイン環境の場合  
ここでログオン先を選択

ユーザー名の入力が終了したら、iDEA の指紋認証を行ってください。認証に成功すると Windows ログオン処理が開始されます。

---

**b. Windows ロック解除**

MC-Passport をインストールした後、Windows ロックが実施されると、下記に示すようなコンピュータのロック画面が表示されます。

コンピュータのロック画面が表示されたら、画面中のメッセージに従って、iDEA を挿入し Ctrl+Alt+Del キーを押してください。



次に、下記に示す Windows ロック解除の認証画面が表示されます。iDEA を挿入し、指紋認証を行ってください。指紋認証に成功すると、Windows ロックが解除されます。



注) AdministratorなどのOSで予め予約されているユーザー名(Well Known Users)でWindowsログオンした場合、Windowsロック解除の認証画面の代わりに、コンピュータのロックの解除画面が表示されWindowsパスワードの入力が求められます。また、デバイスによっては、デバイス認証画面が表示されないものがあります。



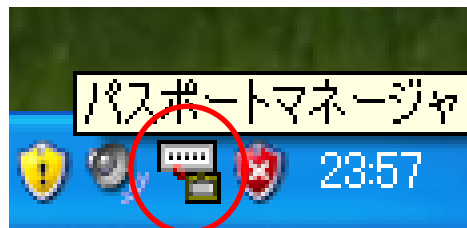
---

### c. Passport Manager の起動

Passport Manager がインストールされると、Windows ログオン時に自動的に起動され、下図に示すように、タスクトレイに Passport Manager のアイコンが表示されます。

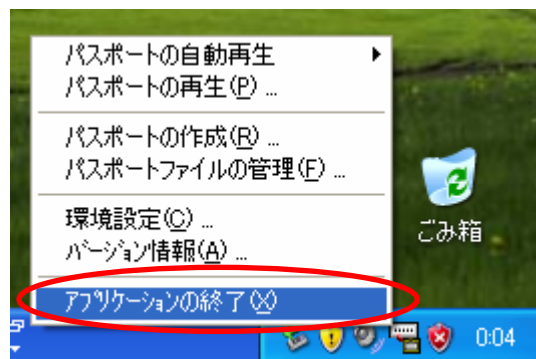
パスポートの自動再生が停止している時は、同アイコン上に赤の × 印が付きます。

一旦終了してしまったプログラムを再起動するには、Windows XP の場合、「スタート」 - 「すべてのプログラム」 - 「M-Commerce」 - 「Passport Manager」 - 「パスポート管理ユーティリティ」の順にクリックします。正常に起動されると、Windows ログオン時と同様に、タスクトレイにアイコンが表示されます。



### d. Passport Manager の終了

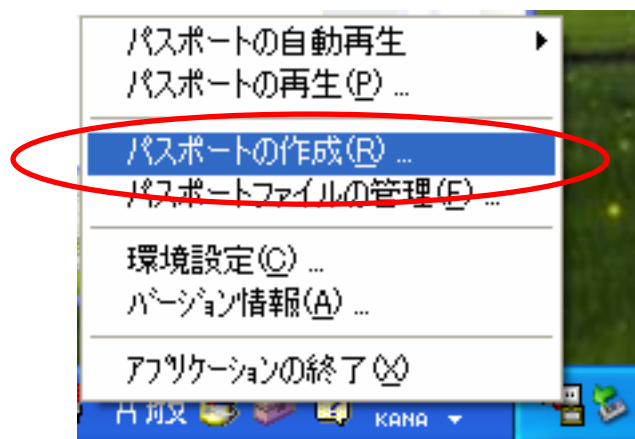
Passport Manager を終了するには、タスクトレイの Passport Manager アイコン上で、マウスの右ボタンをクリックします。次に下図のようなポップアップメニューが表示されたら、「アプリケーションの終了」を選択し、マウスの左ボタンをクリックします。



#### e. パスポートの作成

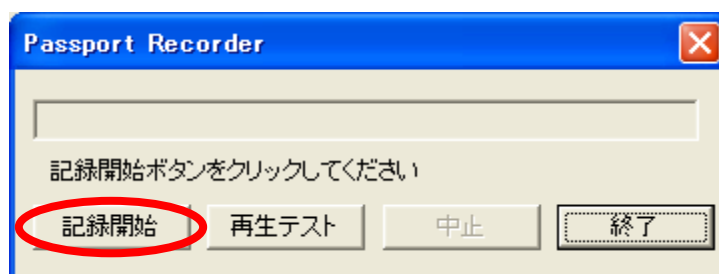
最初に、パスポートを記録する、目的のアプリケーションを起動し、ID/パスワード等の入力画面を表示させます。

次に、タスクトレイの Passport Manager アイコン上で、マウスの右ボタンをクリックし、下図に示すポップアップメニューが表示されたら、「パスポートの作成」を選択した後、マウスの左ボタンをクリックします。

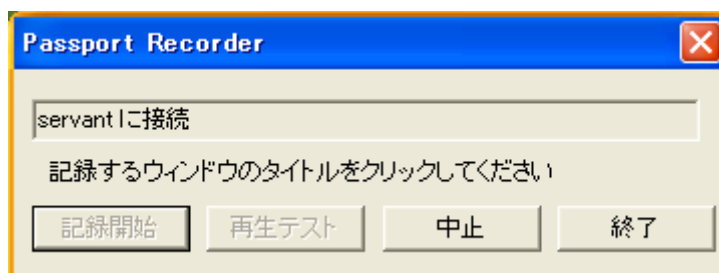


次に、下記に示す Passport Recorder 画面が表示されたら、「記録開始」ボタンをクリックします。

**注)パスポートは、各Windowsログオンユーザ毎に作成管理されます。**



「記録開始」ボタンがクリックされると、マウスカーソル下のウィンドウ枠の色が、下図のように変化します。マウスカーソルを、パスポートを記録する、目的のアプリケーションのタイトルに移動し、クリックします。タイトルがクリックされるとウィンドウ枠の色が元に戻ります。



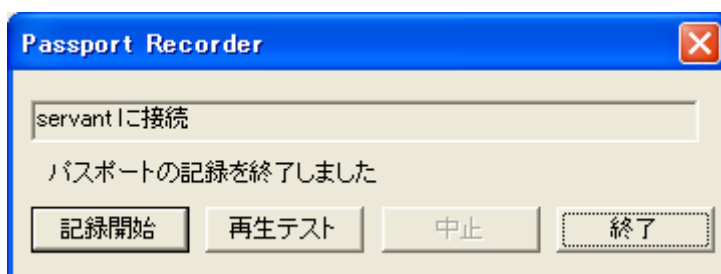


パスポートの記録が開始されると、Passport Recorder 画面中の表示が、下図のように変化します。表示メッセージに従い、記録を終了する時は Ctrl+Break キーを押してください。

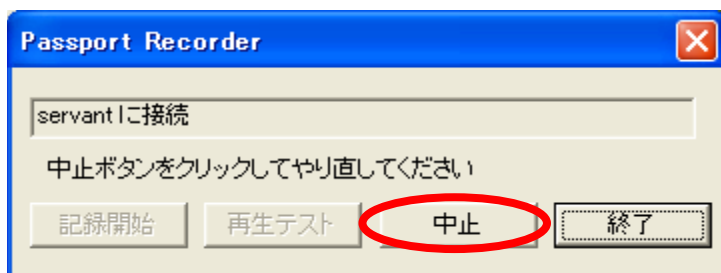


パスポートの記録が終了すると、Passport Recorder 画面中の表示が、下図のように変化します。引き続き、パスポートの再生テストを行い、記録されたパスポートが正常か否かご確認ください。正常に再生されなかった場合は、再度、パスポートの記録を行ってください。

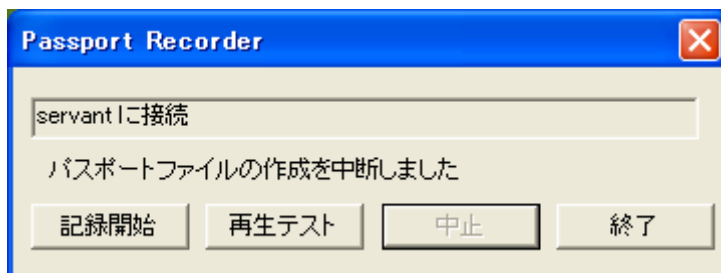
**注)再生テストの詳細は、後述のパスポートの再生テストの手順をご参照ください。**



パスポートの記録中に、Passport Recorder 画面中の「中止」ボタンをクリックすると、Passport Recorder 画面中の表示が、下図のように変化します。パスポートの記録をやり直す場合は、再度、「中止」ボタンをクリックしてください。



「中止」ボタンがクリックされると、Passport Recorder 画面中の表示が、下図のように変化します。パスポートの記録をやり直す場合は、再度、「記録開始」ボタンをクリックし、初めからやり直してください。



#### i. パスワードダイアログボックスでのパスポートの作成例

下図では、ネットワークドライブにアクセスする際にユーザー名とパスワードの入力が必要な場合の、パスポートの作成例を示します。

本作成例は、パスワード入力ウィンドウサイズが変化せず、且つ、ウィンドウが表示された時にカレット(文字入力のカーソル)がエディットボックスに位置し、フォーカスされている場合のパスポート作成の参考となります。

##### 作成手順

Passport Recorder で「記録開始」ボタンをクリックします。

マウスカーソルを目的のウィンドウタイトルに移動します。

タイトル上でクリックし、記録を行うウィンドウを決定します。

マウスをウィンドウの左上隅に移動した後クリックし、マウスの操作起点をマークします。

**注)本作成例では、以降、中止する場合を除き、パスポートの記録が終了するまで、マウスでの操作は行いません。**

「ユーザー名」コンボボックスにユーザー名を入力します。

Tab キーを押して「パスワード」エディットボックスにカレットを移動します。

「パスワード」エディットボックスにパスワードを入力します。

Tab キーを押して「パスワードを記憶する」チェックボックスにフォーカスを移動します。

Tab キーを押して「OK」ボタンにフォーカスを移動します。

「OK」ボタン上でスペースキーを押します。

正常にネットワークドライブに接続できたら、Ctrl+Break キーを押して記録を終了します。



## ii. Web サービスパスワード入力画面でのパスポートの作成例

下図では、Web サービスにアクセスする際にパスワードの入力が必要な場合の、パスポートの作成例を示します。

本作成例は、パスワード入力ウィンドウサイズが変化したり、また、ウィンドウが表示された時のカレット位置やフォーカスが不定な場合のパスポート作成の参考となります。

### 作成手順

Passport Recorder で「記録開始」ボタンをクリックします。

マウスカーソルを目的のウィンドウタイトルに移動します。

タイトル上でクリックし、記録を行うウィンドウを決定します。

マウスをウィンドウの左上隅に移動した後クリックし、マウスの操作起点をマークします。

マウスを、表示画面中のウィンドウサイズが変わっても常に空白な部分に移動した後クリックし、キー入力起点をマークします。

Tab キーを押して「パスワード」入力ボックスにカレットを移動します。

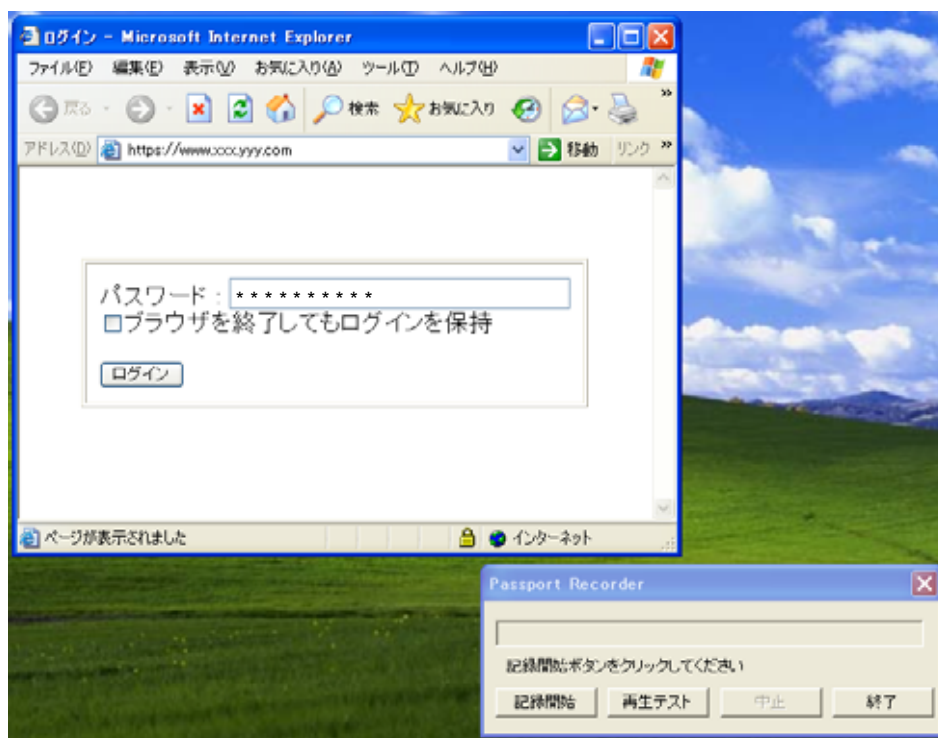
「パスワード」入力ボックスにパスワードを入力します。

Tab キーを押して「ブラウザを終了してもログインを保持」チェックボックスにフォーカスを移動します。

Tab キーを押して「ログイン」ボタンにフォーカスを移動します。

「ログイン」ボタン上でスペースキーを押します。

正常に Web サービスに接続できたら、Ctrl+Break キーを押して記録を終了します。

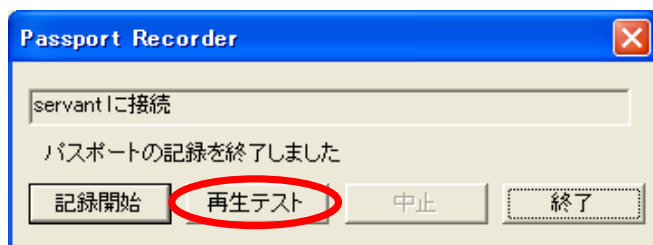


---

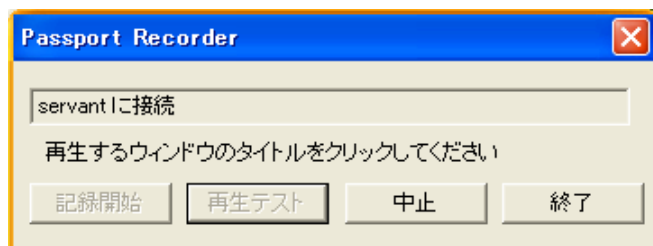
f. パスポートの再生テスト

Passport Recorder が起動されている状態で、パスポートの再生テストを行う、目的のアプリケーションを起動し、ID/パスワード等の入力画面を表示させます。

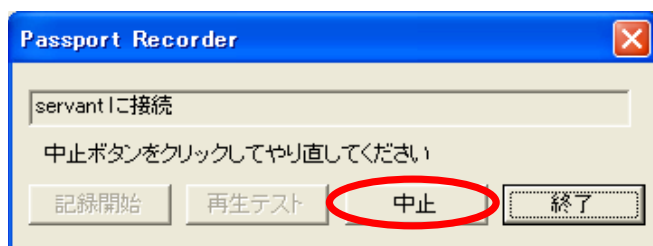
次に、Passport Recorder 画面中の、「再生テスト」ボタンをクリックします。



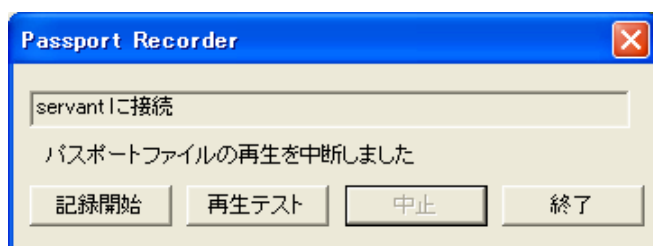
「再生テスト」ボタンがクリックされると、マウスカーソル下のウィンドウ枠の色が、下図のように変化します。マウスカーソルを、パスポートの再生テストを行う、目的のアプリケーションのタイトルに移動し、クリックします。タイトルがクリックされるとウィンドウ枠の色が元に戻ります。



パスポートの再生テストに、Passport Recorder 画面中の「中止」ボタンをクリックすると、Passport Recorder 画面中の表示が、下図のように変化します。パスポートの再生テストをやり直す場合は、再度、「中止」ボタンをクリックしてください。

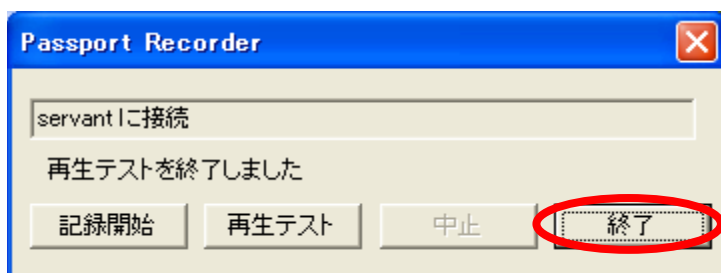


「中止」ボタンがクリックされると、Passport Recorder 画面中の表示が、下図のように変化します。パスポートの再生テストをやり直す場合は、再度、「再生テスト」ボタンをクリックし、初めからやり直してください。



パスポートの再生テストが終了すると、Passport Recorder 画面中の表示が、下図のように変化します。正常に再生された場合は、「終了」ボタンをクリックし、Passport Recorder を終了してください。正常に再生されなかった場合は、再度、パスポートの記録からやり直してください。

**注)再生テストにおいて、記録されたパスポートが正常に再生されても、実際のパスポートの自動再生時に、うまく再生されない場合があります。このような場合は、マウス操作やキーボード操作を工夫しながら、パスポートを作成し直して見てください。**

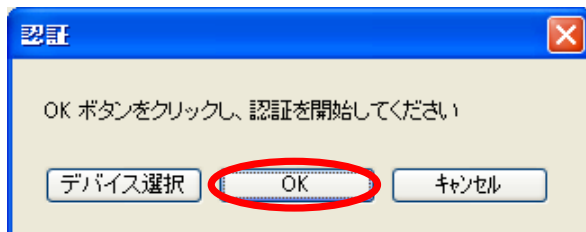


#### g. パスポートの自動再生

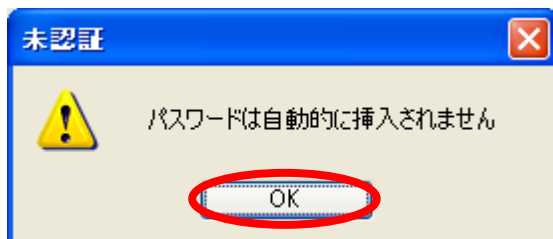
Passport Manager が開始されている状態で、パスポート登録済みのパスワード入力ウィンドウが表示されると、下記に示す認証画面が表示されます。

画面表示に従い「OK」ボタンをクリックすると、認証画面が引き続き表示されますので、iDEA を接続し指紋認証を行ってください。認証に成功すると、パスポートが自動的に挿入されます。

**注) AdministratorなどのOSで予め予約されているユーザー名(Well Known Users)で Windowsログオンした場合、認証画面は表示されません。また、デバイスによっては、デバイス認証画面が表示されないものがあります。**

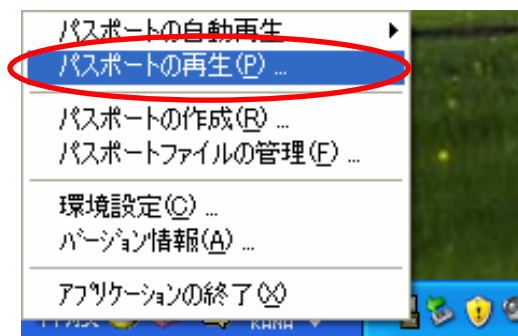


認証画面で「キャンセル」をクリックしたり、デバイス認証に失敗すると、下記に示す未認証画面が表示されます。未認証画面が表示されたら「OK」ボタンをクリックしてください。この場合、パスポートの自動挿入は実施されませんので、ID/パスワードなどはキーボードから入力を行ってください。



#### h. パスポートの再生

タスクトレイの Passport Manager アイコン上で、マウスの右ボタンをクリックします。次に下図のようなポップアップメニューが表示されたら、「パスポートの再生」を選択し、マウスの左ボタンをクリックします。



次に、下記に示す Passport Player 画面が表示されます。「再生」ボタンをクリックするか、再生したいパスポート名をクリックしてください。

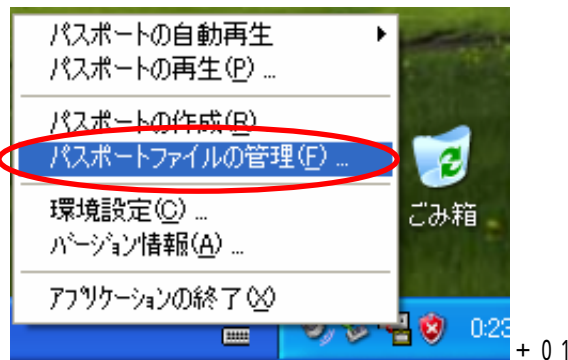


PassportPlayer 画面が下の様になり、「再生するウィンドウのタイトルをクリックしてください」と表示されたら、再生対象のウィンドウのタイトルバーの部分をクリックしてください。記録されているパスポートが再生されます。



#### i. パスポートの削除

タスクトレイの Passport Manager アイコン上で、マウスの右ボタンをクリックします。次に下図のようなポップアップメニューが表示されたら、「パスポートファイルの管理(F) ...」を選択し、マウスの左ボタンをクリックします。



次に、下記に示す Passport File Manager 画面が表示されます。個別のパスポートを削除する場合、目的のパスポート名(パスポート記録時の目的ウィンドウタイトル名)をダブルクリックしてください。

**注)パスポートは、各Windowsログオンユーザ毎に作成管理されます。**

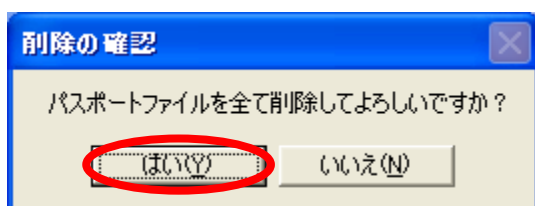


全てのパスポートを削除する場合、「全て削除」ボタンをクリックして下さい。

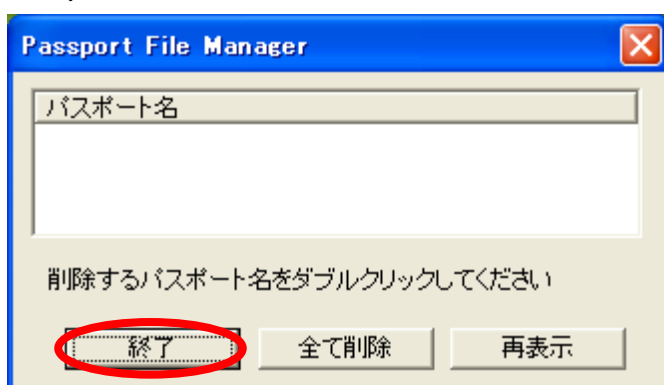




「全て削除」ボタンがクリックされた場合、下図に示す削除の確認画面が表示されます。全て削除してもよい場合のみ、「はい」をクリックして下さい。



パスポートの削除が終わったら、「終了」ボタンをクリックし、Passport File Manager を終了してください。

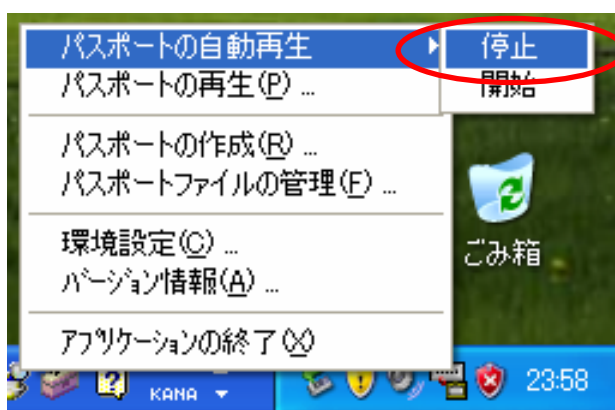


#### j. Passport Manager の停止/再開

##### i. 停止

タスクトレイの Passport Manager アイコン上で、マウスの右ボタンをクリックします。次に下図のようなポップアップメニューが表示されたら、「パスポートファイルの自動再生」 - 「停止」を選択し、マウスの左ボタンをクリックします。

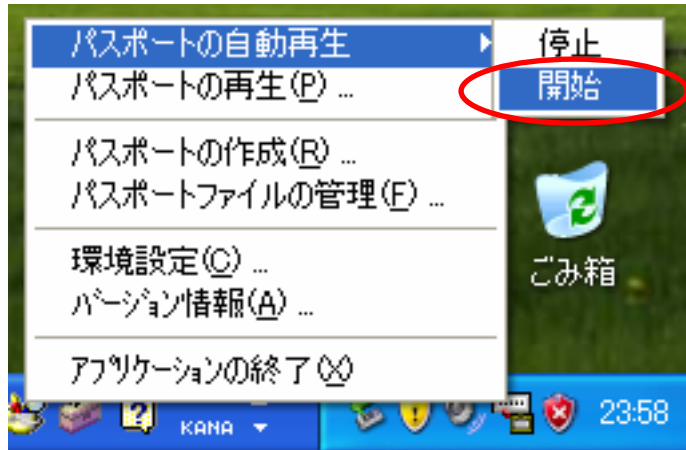
**注) Passport Manager が停止している間は、パスポート登録済みのパスワード入力ウィンドウへ ID/パスワードが自動挿入されません。また、停止したまま終了すると、次回起動時に停止状態で起動されます。**





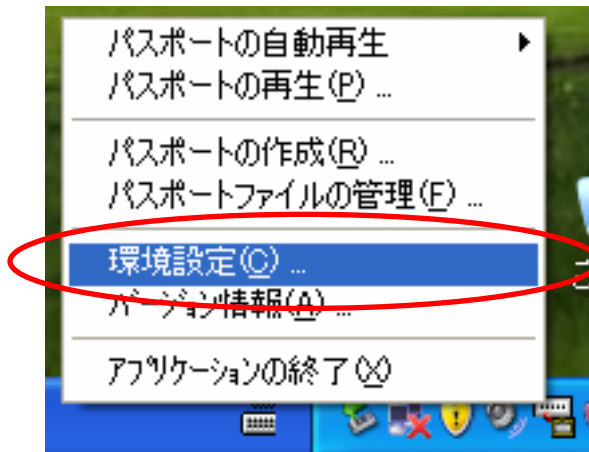
## ii. 再開

タスクトレイの Passport Manager アイコン上で、マウスの右ボタンをクリックします。次に下図のようなポップアップメニューが表示されたら、「パスポートファイルの自動再生」-「開始」を選択し、マウスの左ボタンをクリックします。



## k. 環境設定

タスクトレイの Passport Manager アイコン上で、マウスの右ボタンをクリックします。次に下図のようなポップアップメニューが表示されたら、「環境設定」を選択し、マウスの左ボタンをクリックします。



次に、下記に示す Passport Manager Configuration 画面が表示されます。



#### i. パスポートの格納場所

作成及び使用するパスポートの場所を選択します。

##### 1) Local Settings

ローカルハードディスク内のプロファイル領域に作成されます。

パスポートを使用するPCが固定されている場合に用います。(初期値)

##### 2) Flash Disk

認証に使用している iDEA のフラッシュディスク内に作成されます。

複数のPCを使用する際に同じパスポートを使用したい場合に用います。

#### ii. 認証

PC に他の認証デバイスが登録されている場合、そのデバイス選択ダイアログを表示するかどうかを設定します。

#### iii. プレーヤーの認識率

アプリケーション等によっては、パスポート再生対象のウィンドウが表示される際、パスポートプレイヤーがウィンドウを識別する為の情報が少ない場合があります。

その場合、この認識率を下げる事によって、情報が少ないウィンドウに対して、再生対象と判断する事が出来るようになります。

なお、認識率を下げると、ウィンドウの誤認識を起こしたり、その結果表示されてはいけないパスワード入力等が見えてしまう等、セキュリティ性が低下する可能性がありますので、ご注意ください。

#### iv. 再生テスト時ディレイ

パスポート作成の再生テスト時の速度を設定します。PCのパフォーマンスによっては、入力欠け等を起こす場合がありますので、その場合はこの値を増やしてください。

#### v. 通常再生時ディレイ

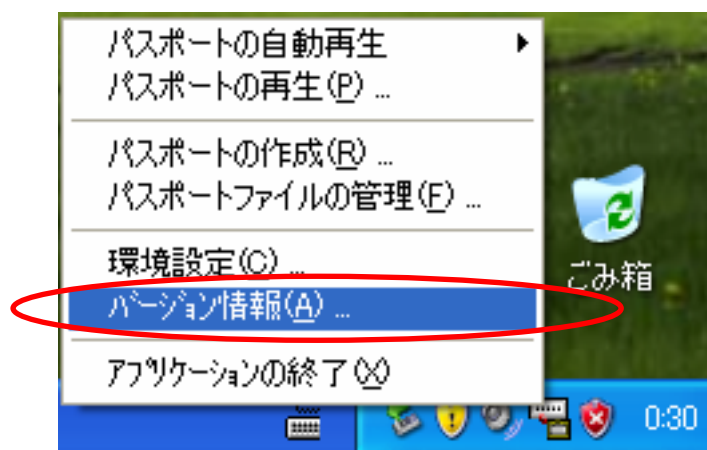
実際にパスポートが再生される時の速度を設定します。PCのパフォーマンスによっては、入力欠け等を起こす場合がありますので、その場合はこの値を増やしてください。

#### vi. 各機能の使用許可

それぞれの機能の使用可・不可、及び環境設定によって変更できるかどうかの設定を行います。

### I. バージョン情報の表示

タスクトレイの Passport Manager アイコン上で、マウスの右ボタンをクリックします。次に下図のようなポップアップメニューが表示されたら、「バージョン情報」を選択し、マウスの左ボタンをクリックします。



「バージョン情報」がクリックされると、下図に示すようなバージョン情報画面が表示されます。



## 5. パスワード初期化ユーティリティ

MC-Passport for iDEA では、1つの iDEA に1つのアカウントの Windows ログオンパスワードしか格納できません。これは、1つのアカウントに1つの iDEA を対応させるという考えに基づいています。また、iDEA 内にパスワードが格納されていると、パスワードの自動登録設定が有効になっていても別のアカウントのパスワードを記録する事が出来ません。これは他人の iDEA にパスワードを上書きしないようにする為です。

その為、一度パスワードを登録した iDEA を他のアカウント用に変更する場合内部のパスワード情報を初期化する必要があります。

パスワード初期化ユーティリティは、既にパスワード登録されている iDEA を他のアカウントで利用したい場合に用います。

### a. インストール

MC-Passport をインストールする際のセットアップタイプで「標準」「最小」を選択した場合は、パスワード初期化ユーティリティはインストールされません。

個々の iDEA の使用者が入れ替わる様な運用が想定される場合は、MC-Passport インストール時にセットアップタイプで「カスタム」を選択してインストールしてください。

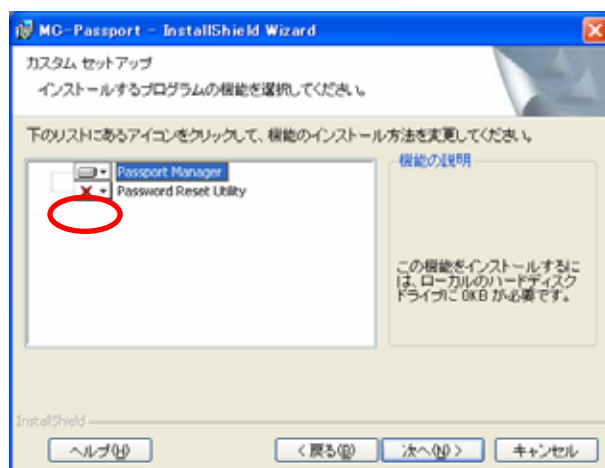
MC-Passport を既に「標準」「最小」でインストール済みの場合はインストール時に使用した「setup」を使用して、変更を行います。「setup」を起動させると下の様な画面が表示されますので、**[次へ(N) >]**ボタンをクリックしてください。



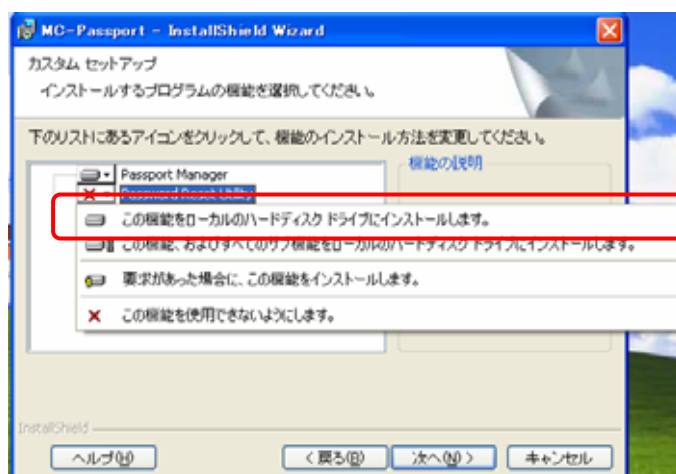
次に、プログラムの保守機能の選択画面が表示されますので、**変更(M)**を選んで[次へ(N) >]ボタンをクリックしてください。



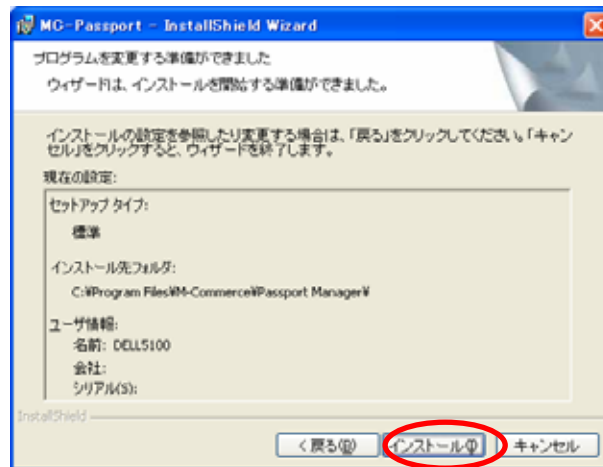
次に、現在インストールされている機能を表す画面が表示されますので、図の部分をクリックします。



図の様な機能選択のメニューが表示されますので、「この機能をローカルのハードディスクドライブにインストールします。」を選択し、[次へ(N) >]ボタンをクリックしてください。



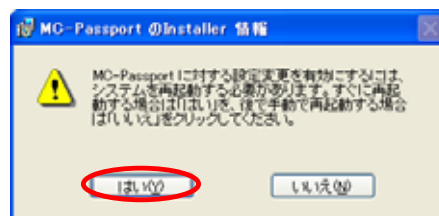
次の画面が表示されたら、[インストール(I)]ボタンをクリックしてください。



インストールが成功すると、下記の画面が表示されますので、[完了(F)]をクリックするとインストールが完了します。



インストール完了後、下記の画面が表示されますので、[はい(Y)]をクリックしてコンピュータの再起動を行って下さい。

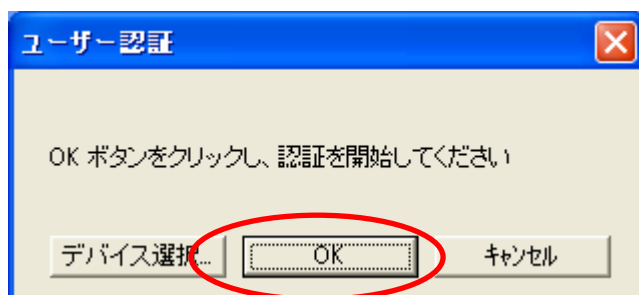


---

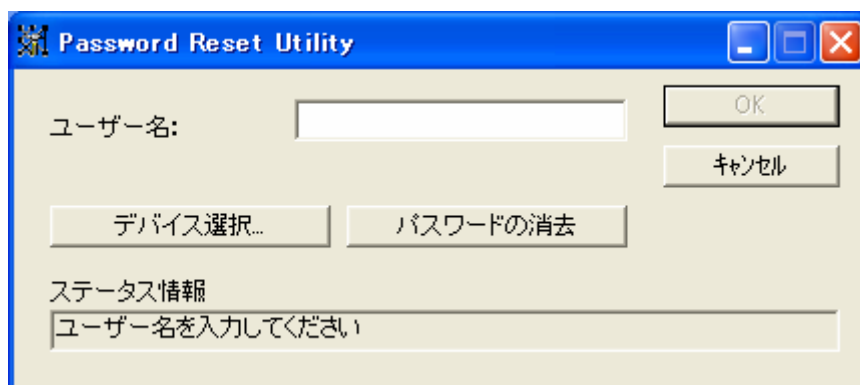
## b. 起動

Windows XP の場合、「スタート」 - 「すべてのプログラム」 - 「M-Commerce」 - 「Password Reset Utility」 - 「パスワード初期化ユーティリティ」の順にクリックします。

正常に起動されると、まず下の様な画面が表示されますので、指紋認証を済ませた iDEA が接続されている事を確認した後、「OK」ボタンをクリックしてください。



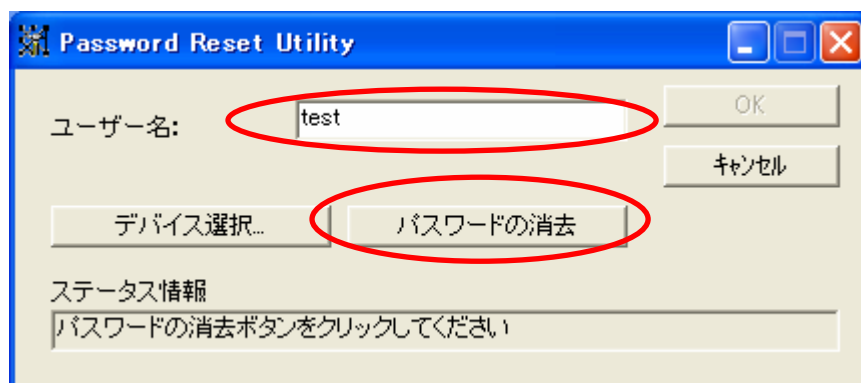
認証に成功すると、下の様な画面が表示されます。



### c. パスワードの消去方法

次に、パスワードを消去したい iDEA を接続します。ログオン認証に使用した iDEA と違う場合は、デバイスの取り外しの手順を踏んで iDEA を取り外し、消去したい iDEA を接続し、指紋認証を行ってください。

次に、ユーザー名エディットボックスに消去したい iDEA に格納されているパスワードのアカウントのユーザー名を入力し、「パスワードの消去」ボタンをクリックしてください。



もし、入力したユーザー名と iDEA に格納されているパスワードのユーザー名が違う場合は、下の様なダイアログが表示されます。('OK' ボタンをクリックすると復帰します)



パスワードの消去に成功すると、ステータス情報欄に「パスワードを消去しました」と表示されます。

別の iDEA のパスワード消去したい場合は、iDEA を取り外して次の iDEA を接続して指紋認証を行えば続けて処理できます。

'OK' ボタンをクリックすると、パスワード初期化ユーティリティを終了します。

